

鯉のぼりに負けないで元気に育てよ

和納三区、樋口三衛さんは三人の子供が保育所に入所しているいろいろお世話になり小学校に入る事になった。記念にと九ヵもある、鯉のぼりを和納保育所に寄贈しました。

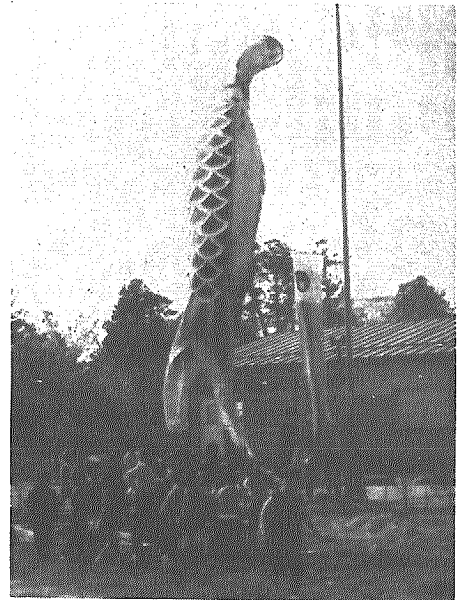
五月の青空に大きく泳いでいます。ありがとうございました。保育所の幼児よ、鯉のぼりに負けないでノビノビと大きく豊かに育とう。

おかあさんプレゼントありがとう

和納保育所

和納保育所母の会(会長 大越純子)は家庭にある古新聞、週刊誌、等を廃品を持ちよって、資金を集め、園児にプレゼント、この会は教年来テレビ、プラランコ等の遊具を整えてきた。

三月に実施された三才児 昭和四十二年四月二日〜九月(昭和三十九年四月二日〜月三十日生) 検診の結果は 九月三十日生) 及び乳児(表の通りです。



あなたの手に委ねられている

これからの村づくりは

三才児 赤ちゃんコンテストの結果について

診察に当って気づいた点

三才児

●虫歯が非常に多い

●おやつとの与え方

●食後のうがいの習慣

●治療は早く受けること

乳児

前にくらべると育て方が じょうずになりましたが、

◎離乳期をさかみにして

発音が悪くなる

●正しい離乳食の勉強

●皮膚・眼疾患が目立つ

●清潔方法に誤りはな

いか

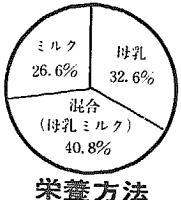
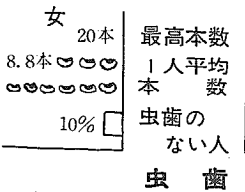
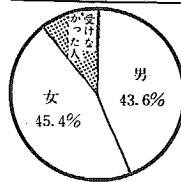
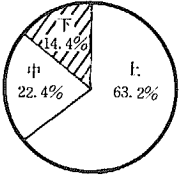
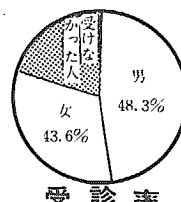
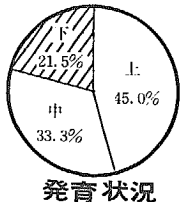
以上の事をもう一度考

えてみて、丈夫な子供に育

ましよう。

三才児

乳児



◇そのむかし、日本の統治権者は、一片の布令をもつて、民衆を支配し服従させていました。民衆は、その布令がたとえ納得のゆかないものであっても、一言半句もいえず、ひたすらそれに服従することを、最大の「美德」とさえ心得ていたのです。しかし、長い歴史の歯車の回転とともに時代は一変！民主主義の時代が訪れました。

◇いまでは民主的な政治ということばは自身、新鮮味のない死語の感じさえうけるのですが、民主的な「政治」という点においてはどうか。民衆を判断し寛大な心をもつて話しあいて……という至上命令において、政治の権力は、民衆の手にあるという人民権の根本原則からみて……

◇その意味で村では「村民の声を村政に反映させる」という「合いことば」で全部落移動懇談会を開き、ミサを交えて村政の問題を真剣に話しあっています。ここでは村政に対する無関心さや、すべての村民の声は、「犬の遠ほえ」であってはならないと反省されています。そして為政者も納得づくの村政を行なうことを約しています。

◇ある感情や衝動に起因する発言は慎しむ。村政懇談会の今後のためにも全村的な見地に立つてものを考えあいましよう。